

街角ニュース

◇「ハタ」作りで平和祈る 戦後80年の節目に平和の願いを次世代へつなぐと、名古屋経済大高蔵高校（瑞穂区）の1年生が、長崎の伝統的なたこ「ハタ」を作り、文化祭で展示した
 写真。

来年の修学旅行で長崎を訪問予定の生徒たちが、長



崎市の「小川凧（はた）店」の協力で各クラス1枚ずつ制作。図案は、夏休みの課題として考えてきたものから平和を象徴する白いハトや草花が芽生える様子を表したものの、折り鶴をモチーフにしたものが採用された。

クラスのハタの図案を選んだ梅原大雅さん（16）は「みんな良い絵を描くから難しかった」と振り返り、加藤凜夏（16）さんは「見た人が、これは何だと、興味を持つことにつながれば」と話した。

10月8日(水)

中日新聞 朝刊より